

第六回「地域脱炭素化に向けた大学における環境人材育成の検討会」 委員と有識者の顔ぶれ

日時：2025年11月4日（火）15時～17時

場所：IGES 東京サステイナビリティフォーラム（東京都港区西新橋1-14-2 新橋SYビル4F）・オンライン併用

主な論点：環境人材育成に向けた提案の各大学での実施可能性、それを後押しするための施策等

[検討会 委員]

- ♦ （座長）岡山大学 理事（デジタルトランスフォーメーション・グリーントランスフォーメーション担当）・上席副学長 阿部 匠伸氏
- ♦ 一社）地域政策デザインオフィス 代表理事／千葉商科大学 人間社会学部 教授 田中 信一郎氏
- ♦ 法政大学 社会学部 教授／信州大学 グリーン社会協創機構 特任教授 茅野 恒秀氏
- ♦ 立命館大学 産業社会学部 現代社会学科 教授 永野 聰氏

[有識者]

- ♦ 千葉大学大学院 社会科学研究院 教授 倉阪 秀史 氏

1964、三重県上野市（現・伊賀市）生まれ。1987年東京大学経済学部経済学科 卒業。同年4月環境庁 入庁。環境基本法、環境影響評価法の制定などに従事。1994年4月からのメリーランド大学客員研究員を経て、1998年4月千葉大学法経学部 助教授として着任。2008年4月より法経学部教授（総合政策学科）となり、現在は千葉大学大学院社会科学研究院 教授を務める。主な研究テーマは、資本基盤と通過資源からなる持続可能性に関する経済理論の構築、バックキャスティング型政策形成のための基礎自治体レベルでの持続可能性に関する情報提供（人口減少のインパクトの見える化、脱炭素可能性の把握）。環境経済・政策学会理事、環境アセスメント学会理事なども歴任。専門分野は、環境経済学、環境政策論。（[経歴詳細](#)）